

## 家庭系ごみ有料化に係る検討状況について

|   |   |                       |
|---|---|-----------------------|
| 平成28年9月20日  | 第3回弘前市廃棄物減量等推進審議会において「家庭系ごみの有料化について」に対する答申案の最終審議  |                       |
| 平成28年9月26日  | 「家庭系ごみの有料化について」答申   |                       |
| 平成28年11月9日  | 市長が定例記者会見で、ごみ減量化・資源化の参考とするために11月23日から11月29日までの日程で開催する「ごみの減量化・資源化にかかる意見交換会」の中で、「家庭系ごみの有料化」についても市民から広く意見を求め、市の方針決定の参考とすることを表明   |                       |
| 平成28年11月23日   | ごみの減量化・資源化意見交換会(北辰学区高杉ふれあいセンター)   |                       |
| 平成28年11月24日   | " (中央公民館相馬館)  |                       |
| 平成28年11月25日   | " (市民文化交流館 ヒロ口4階)   |                       |
| 平成28年11月27日   | " ( " )   |                       |
| 平成28年11月29日   | " (中央公民館岩木館)  |                       |
| 平成28年12月6日<br>～9日   | 市議会(平成28年第4回定例会一般質問)【ごみの有料化関係抜粋】  |                       |
|   | 木村 隆洋 議員  | 家庭系ごみの有料化について         |
|   | 千葉 浩規 議員  | 家庭系ごみの有料化について         |
|   | 加藤 とし子 議員   | ごみの有料化について            |
|   | 石岡 千鶴子 議員   | 生活ごみ問題について            |
|   | 小田桐 慶二 議員   | 食品廃棄物の削減について          |
|   | 佐藤 哲 議員   | 家庭系ごみ有料化への取り組みについて    |
|   | 一戸 兼一 議員  | 家庭系ごみの有料化について         |
|   | <p>《市長答弁》【抜粋】</p> <p>審議会からの答申を重くとらえ、その後、各種団体や全市民対象の意見交換会を開催し、当市のごみの現状等を説明しながら、広く市民の意見を聞き、市としての方針を慎重に検討してまいりました。先に開催した意見交換会でも、ごみの減量化・資源化に関するさまざまなご意見・ご提言をいただいたところであり、家庭系ごみの有料化につきましても、多くのご意見をいただき引き続き慎重に検討する必要がありますと考え、さらにきめ細かく地区別の意見交換会を実施し、広く市民等のご意見をいただいた上で、市の方針を決めていきたいと考えております。</p> |                       |
| 平成29年1月27日  | ごみの減量化・資源化意見交換会(市民文化交流館)  | 全中学校区                 |
| 平成29年1月28日  | " (総合学習センター)  | 第五中学校区                |
| 平成29年1月29日  | " (第三中学校)   | 第三中学校区                |
| 平成29年2月5日   | " (石川小学校)   | 石川中学校区                |
| 平成29年2月11日  | " (中央公民館岩木館)  | 津軽中学校区                |
| 平成29年2月12日  | " (弘前地区環境整備センター)  | 第二中学校区                |
| 平成29年2月26日  | " (船沢公民館)   | 船沢中学校区                |
| 平成29年2月28日<br>～3月3日   | 市議会(平成29年第1回定例会一般質問)【ごみの有料化関係抜粋】  |                       |
|   | 伏見 秀人 議員  | 一般ごみ排出量の現状と減量化対策等について |
|   | 千葉 浩規 議員  | 家庭系ごみの有料化について         |
|   | 加藤 とし子 議員   | ごみの減量化・資源化について        |
| <p>《市長答弁》【抜粋】</p> <p>家庭系ごみにつきましては、全国平均の1.15倍の排出量となっており、燃やせるごみと大型ごみの排出量が比較的多く、特に燃やせるごみについては、生ごみが他自治体に比べ、多く出されているということもありますが、市が指定するごみ袋が無いなど、他市町村との排出ルールの違いにより、ごみを出しやすいことも大きな要因となっていると考えられます。</p> <p>家庭系ごみの減量に向けては、引き続き、3キリ運動の推進や、様々な機会を通して、市民への意識啓発活動を強化していくほか、ごみ集積所での排出状況、処理施設の展開調査などで、一層、家庭系ごみの実態把握に努め、その状況を踏まえながら、更なる具体的な取り組みを強化・実施していきたいと考えております。</p> |   |                       |

|            |                                  |        |
|------------|----------------------------------|--------|
| 平成29年3月12日 | ごみの減量化・資源化意見交換会（新和地区体育文化交流センター）  | 新和中学校区 |
| 平成29年3月18日 | （北辰学区高杉ふれあいセンター）                 | 北辰中学校区 |
| 平成29年3月19日 | （市民文化交流館）                        | 第一中学校区 |
| 平成29年3月23日 | 平成28年度 第4回弘前市廃棄物減量等推進審議会（検討状況報告） |        |

引き続き、下記日程で意見交換を実施予定

|            |                              |         |
|------------|------------------------------|---------|
| 平成29年3月25日 | ごみの減量化・資源化意見交換会（東目屋ふれあいセンター） | 東目屋中学校区 |
| 平成29年3月26日 | （市立観光館）                      | 第四中学校区  |
| 平成29年4月2日  | （岩木嶽さわやかホール）                 | 常盤野中学校区 |
| 平成29年4月9日  | （農村環境改善センター）                 | 裾野中学校区  |
| 平成29年4月16日 | （中央公民館相馬館）                   | 相馬中学校区  |
| 平成29年4月22日 | （千年交流センター）                   | 南中学校区   |
| 平成29年4月23日 | （総合学習センター）                   | 東中学校区   |

### 《今後のながれ》

- ①意見交換会全日程が終了次第、意見のまとめを作成。（市ホームページ等で公表）
- ②答申と意見交換会での意見内容を考慮した上で総合的に判断し、市の方針を決定。（時期は未定）

### 意見交換会で出された意見（抜粋）

・家庭系ごみ有料化していなくても青森市などは弘前市よりごみが少ないが、これは周知啓発が進んでいるからである。弘前市はやるべきことをやり尽くしたとは言えず、有料化は良い施策ではない。

・青森市では家庭系ごみ有料化ではなく、指定ごみ袋だけが決められている状況であるが、袋を決めるだけでも不法投棄対策になるのではないか。

・家庭系ごみ有料化を実施した場合、指定袋を使用せずに出されたごみは誰が責任を持って処理するのか。

・家庭系ごみ有料化を検討しているとのことであるが、主婦の感覚としては、スーパーなど1円でも安いところを探して購入している。1か月500円位の負担が妥当ではないかという答申の内容であるが、今のごみ袋の値段が良いのではないかと思う。

・農業から出るごみも立派な事業系ごみであると思うが、事業系ごみとして指導している話を聞いたことがない。小さな商店からの販売機の缶も家庭系ごみに捨てられている。農家や小さな商店などを重点的に指導してほしい。

・ごみの減量化・資源化が進めば有料化しないのか。

・市民全体のごみ減量化・資源化の意識を高めるための努力を1、2年かかっても行うべきである。

・集積所の燃やせるごみの中に資源ごみがたくさん含まれている。一人ひとりが意識をきちんと持たなければいけない。チラシや回覧だけでなく、直接説明を聞けたらいいと思う。

・子どもたちへの環境教育は大事であるので、学校教育の中でごみを減らすための取り組みを徹底して実施してほしい。

・ごみも除雪も町会の底力であり、町会で意見を出し合って町会でやらなければいけない。

・市民の意見を聞くのも重要であるが、先進自治体を研究することも必要ではないか。

・家具などの大型ごみのリユースを検討してはどうか。

・アパートに住んでいる人や学生へのごみ出しの周知が必要。

・資料によると、燃やせるごみに含まれる資源ごみが9.3%となっているが、これを回収できればごみが減るのではないか。

・私たちの町会では、集めた資源ごみをすべて再生資源回収運動に出しており、町会の活動費の一部となっている。このような町会が増えれば、ごみが少なくなっていくのではないか。

・市民のごみに対する意識が高まると思われるため、家庭系ごみ有料化には賛成である。